

令和 6 年度事業報告

I 概要

1. 法人の概要

- (1) 設立年月日 平成 9 年 6 月 18 日
寄付行為の変更許可 平成 11 年 6 月 3 日
公益財団法人移行 平成 24 年 4 月 1 日

(2) 定款に定める目的

本財団は、国内におけるバイオテクノロジー関連の研究活動に対し助成するとともに、バイオテクノロジー技術の交流及び普及を図り、国内産業の育成及び発展に貢献することを目的とする。

(3) 定款に定める事業内容

- ① バイオテクノロジー関連の研究活動に取り組む国内の団体又は個人に対する助成
② バイオテクノロジーに関連する研究会及び講演会の開催並びに研究諸団体への講師の斡旋
③ バイオテクノロジー技術の普及及び啓発
④ 前号までに掲げるもののほか、前項の目的を達成するため必要と認める事業

(4) 所管官庁

内閣府 大臣官房公益法人行政担当室

(5) 主たる事務所

長野県長野市大字南堀 1 3 8 - 1

(6) 役員に関する事項

役 職	氏 名	常勤・非常勤の別	現 職
理事長	水野 雅義	非常勤	ホクト㈱代表取締役社長
副理事長	藤澤 義章	〃	藤澤義章税理士事務所税理士
理事	高藤 富夫	〃	ホクト㈱専務取締役
理事	石田 治	〃	社会福祉法人治敬会常務理事
理事	宮下 正典	〃	弁護士
理事	西宮 登喜男	〃	㈱綿内瓦工業代表取締役会長
監事	上野 紘志	〃	公認会計士
監事	水城 由貴	〃	公認会計士・税理士

Ⅱ 組織運営

1. 理事会

令和6年度第1回理事会(令和6年5月8日 ホクト株式会社 会議室)

- ① 令和5年度事業報告及び決算承認の件
- ② 令和6年度第1回評議員会の招集の件
- ③ 任期満了に伴う評議員候補者選出の件

令和6年度第2回理事会(令和5年5月24日 ホテル国際 21)

- ① 令和6年度きのご観察会開催の件
- ② 令和6年度選考委員会の開催の件
- ③ 「就業規則」「給与規程」「旅費規程」
「奨励金給付事業選考委員会規程」改定の件
- ④ 「印章管理規程（管理簿の作成を含む）」「寄附金取扱規程」
「個人情報保護規程」「謝金規程」
「きのご観察会実施要領」新設の件 5

令和6年度第3回理事会(令和6年8月27日 ホクト株式会社 会議室)

- ① 「会計処理規程」改定の件

令和6年度第4回理事会(令和6年11月8日 ホテル国際 21)

- ① 令和6年度奨励金給付事業研究奨励金給付者及び給付金額選考の件
- ② 令和6年度奨励金給付事業研究奨励金贈呈式の日時の件

令和6年度第5回理事会(令和6年12月12日 ホテルメトロポリタン長野)

- ① 奨励金給付事業選考委員への日当支給の件

令和6年度第6回理事会(令和7年3月10日 ホクト株式会社 会議室)

- ① 令和7年度事業計画（案）承認の件
- ② 令和7年度収支予算書（案）、正味財産増減予算書（案）、資金調達及び設備投資
の見込みの承認の件

2. 評議員会

令和6年度第1回評議員会(令和6年5月24日 ホテル国際 21)

- ① 令和5年度事業報告及び決算承認の件
- ② 任期満了に伴う評議員選任の件
- ③ 令和6年度奨励金給付事業の進捗状況の報告

3. 監査会

監査会(令和6年5月2日 ホクト株式会社 会議室)

- ① 令和5年度全期監査

Ⅲ実施事業（令和6年4月1日～令和7年3月31日まで）

1. 令和6年度研究奨励金給付事業

・実施内容

令和6年5月よりバイオテクノロジーを主体とする生物科学に関する調査研究、技術開発に対する助成先を一般公募。募集期間5ヶ月で71件の応募があり、各選考委員による書類審査後、令和6年11月8日に選考委員会を開き、17名に対し助成金総額1,350万円を給付することを内定。同日開催の理事会において最終決定いたしました。

全国各地、北海道から九州までの広範囲にわたる53機関の大学・研究施設から71名の応募となり、内容も大変厳しい選考となりました。研究奨励金給付事業も28回を数えるに至り、受賞者総数も累計504名、総額29,895万円となりました。

研究奨励金助成者一覧については別紙参照

2. 受賞記念講演会

・実施内容

令和6年12月12日、長野市内のホテルメトロポリタン長野に於いて研究奨励金給付事業研究奨励金贈呈式を挙行いたしました。平成17年度の奨励金贈呈式より開催しております記念講演を、今回も受賞者を代表して4名の先生方に講演をしていただきました。

また、講演会終了後、懇親会において財団関係者と受賞者の皆様方同士親交を深めていただきましたが、中には今後の共同研究の話題が出るほど盛況な懇親会となりました。

・講演内容

演者：中嶋 智之 先生

（信州大学医学部附属病院 臨床検査部 主任臨床検査技師）

演題：大腸癌における補体C5a/C5aRシグナル伝達経路によるEMT促進と腫瘍進行の包括的解析

座長：中山 淳 選考委員長

（北アルプス医療センターあづみ病院 病理診断科 臨床顧問・信州大学 名誉教授）

演者：迫野 昌文 先生

（富山大学 工学部工学科応用化学コース 准教授）

演題：安心・安全なゲノム編集を実現する高正確遺伝子修正ツールの開発

座長：藤田 智之 選考委員

（信州大学 農学部 農学生命科学科 生命機能科学コース 教授）

演者：大原 裕也 先生

(静岡県立大学 食品栄養科学部 食品生命科学科 人類遺伝学研究室 助教)

演題：昆虫は有用脂肪酸の持続的な供給源となるか？～EPA産出系統の創出とその価値検証～

座長 田口 悟朗 選考委員 (信州大学 繊維学部 応用生物科学科 学科長 教授)

演者：兎田 幸司 先生 (慶應義塾大学 文学部 心理学専攻 准教授)

演題：マジックマッシュルームの幻覚成分による抗うつ効果と幻覚作用の解明

座長：稲富 聡 選考委員 (ホクト㈱取締役 生産本部本部長)

3. きのこの観察会及び鑑定会

・実施内容

1. 日時 令和6年10月2日(水)～3日(木)
2. 開催地 筑波大学山岳科学センター 川上演習林
3. 参加人数 48名 (一般参加者39名、講師1名、財団関係者8名)
(農業・工業学誌及び新聞で参加者を募集)

令和6年10月2日～3日、筑波大学山岳科学センター 川上演習林においてきのこ観察会を実施いたしました。さわやかな空気のもと参加者は広大な演習林のなか、思い思いの場所できのこを観察いたしました。

1日目の黒岩荘での勉強会では、慶應義塾大学 生物学教室 糟谷大河准教授を講師に迎え、勉強会を開催しました。スライドやレジュメを使い、きのこの生態上の分類方法についての分かり易い説明から、きのこの生態の不思議さ・環境との共生関係など詳しくお話しいただき、参加者との活発な意見交換もなされました。2日目は、糟谷准教授を中心に鑑定会を行い、イグチ、ベニタケを中心に約86菌種が判別されました。参加者は写真に収めたり、積極的に質問を行っていました。なお、鑑定を行ったきのこは国立科学博物館に鑑定データと共に乾燥標本として寄贈する取り組みも行っております。

今回のきのこ観察会で26回になりますが、同じ季節でも、地域、気候、植生の異なる場所で、様々なきのこが鑑定され毎年充実した会となっております。今後も継続して交流の輪が広がっていくことを期待したいと思います。

観察会目録に関しては、別紙参照

ホ ク ト 生 物 科 学 振 興 財 団
H o k u t o F o u n d a t i o n f o r B i o s c i e n c e
令 和 6 年 度 研 究 奨 励 金 助 成 者 一 覧

1.ポリエチレンテレフタレートを完全に生分解する異種海洋細菌の共培養系の構築

横浜市立大学 理学部 大学院 生命ナノシステム科学研究科

助教 守 次朗 (100 万円)

2.核膜孔タンパク質による「細胞の毛：一時繊毛」の制御機構

東邦大学 理学部 生物分子科学科

講師 吉田 彩舟 (100 万円)

3.大腸運動機能評価が可能な *in vitro* モデルの開発および抗便秘作用を持つきのこ由来成分の探索

麻布大学 獣医学部 薬理学研究室

講師 梶 典幸 (100 万円)

4.酵母の発酵経路酵素ピルビン酸デカルボキシラーゼの遺伝子発現にみられるユニークな制御機構に関する研究

信州大学学術研究院 (農学系) 農学生命科学科 生命機能科学コース食品発酵学研究室

助教 野村 亘 (100 万円)

5.大腸癌における補体 C5a/C5aR シグナル伝達経路による EMT 促進と腫瘍進行の包括的解析

信州大学医学部附属病院 臨床検査部

主任臨床検査技師 中嶋 智之 (100 万円)

6.昆虫は有用脂肪酸の持続的な供給源となるか?～EPA産出系統の創出とその価値検証～

静岡県立大学 食品栄養科学部 食品生命科学科 人類遺伝学研究室

助教 大原 裕也 (100 万円)

7.安心・安全なゲノム編集を実現する高正確遺伝子修正ツールの開発

富山大学 工学部工学科応用化学コース

准教授 迫野 昌文 (100 万円)

8.キノコが合成する特殊アミノ酸毒成分の生合成研究

東京大学大学院薬学系研究科 天然物化学教室

特任助教 水谷 拓 (100 万円)

9.使用済培地と規格外キノコから作られるヒドロゲルフィルムを使用した組織再生のための生物学的安全性の評価

長岡技術科学大学大学院工学技術科イノベーション専攻

5年生（博士課程3年） Guangorena Zarzosa Guillermo Ignacio （100万円）

10.ゲノム解析を用いた希少淡水魚の性決定遺伝子の同定と保全生態学への実践的応用

信州大学先鋭領域融合研究群社会基盤研究所（兼任 理学部）

特任助教 中野 繭 （100万円）

11.線維化疾患としての特徴に着目した婦人科疾患のメカニズム解析と治療薬探索

香川大学農学部応用生物科学科

助教 花木 祐輔 （50万円）

12.ツキヨタケ毒性成分を活用した細胞障害性抗がん剤の創出

立命館大学薬学部 臨床分析化学研究室

助教 高山 卓大 （50万円）

13.可食バイオマスを培地基材とするきのこ栽培と（廃）菌床の食品としての可能性

近畿大学 農学部 応用生命化学科 食品微生物工学研究室

教授 白坂 憲章 （50万円）

14.機能未知タンパク質 C21ORF2 による B 型肝炎ウイルス増殖機構の解明

北海道大学 大学院医学研究院 病原微生物学教室

助教 鈴木 理滋 （50万円）

15.ヘチマのサポニン生合成経路の解明とその産業的応用

大阪公立大学大学院農学研究科応用生物科学専攻 代謝機能学研究グループ

講師 小川 拓水 （50万円）

16.糞から読み解くカブトムシの健康管理-培地発酵度制御とその評価-

岐阜大学工学部化学・生命工学科物質化学コース 東北大学多元物質科学研究所（クロスアポイントメント）

准教授 高井 千加 （50万円）

17.マジックマッシュルームの幻覚成分による抗うつ効果と幻覚作用の解明

慶應義塾大学文学部心理学専攻

准教授 兎田 幸司 （50万円）

ホクト生物科学振興財団 きのご観察会（長野県南佐久郡南牧村野辺山）目録
観察日時：2024.10.3
観察場所：筑波大学山岳科学センター川上演習林
鑑定者：糟谷 大河先生

担子菌門ハラタケ綱ハラタケ目 (Basidiomycota Agaricomycetes Agaricales)

Agaricaceae			ハラタケ科	
<i>Amanita</i>	<i>cheelii</i>	P.M. Kirk		オオツルタケ
<i>Amanita</i>	<i>farinosa</i>	Schwein.		ヒメコナカブリツルタケ
<i>Amanita</i>	<i>fulva</i>	Fr.		カバイロツルタケ
<i>Amanita</i>	<i>vaginata</i>	(Bull.) Lam.		ツルタケ
<i>Lepiota</i>	<i>magnispora</i>	Murrill		ワタカラカサタケ
<i>Macrolepiota</i>	<i>procera</i>	(Scop.) Singer		カラカサタケ
<i>Nidula</i>	<i>niveotomentosa</i>	(Henn.) Lloyd		コチャダイゴケ
Clavariaceae			シロソウメンタケ科	
<i>Clavulinopsis</i>	<i>fusiformis</i>	(Sowerby) Corner		ナギナタタケ
Cortinariaceae			フウセンタケ科	
<i>Cortinarius</i>	<i>armillatus</i>	(Fr.) Fr.		ツバフウセンタケ
Entolomaceae			イッポンシメジ科	
<i>Entoloma</i>	<i>abortivum</i>	(Berk. & M.A. Curtis) Donk		タマウラベニタケ
Favolaschiaceae			ランタケ科	
<i>Mycena</i>	<i>pura</i>	(Pers.) P. Kumm.		サクラタケ
Hydnangiaceae			ヒドナングウム科	
<i>Laccaria</i>	<i>bicolor</i>	(Maire) P.D. Orton		オオキツネタケ
Hymenogastraceae			ヒメノガステル科	
<i>Gymnopilus</i>	<i>picreus</i>	(Pers.) P. Karst.		チャツムタケ
Inocybaceae			アセタケ科	
<i>Inocybe</i>	Sp. 1			アセタケ属の1種
Lycoperdonaceae			ホコリタケ科	
<i>Lycoperdon</i>	<i>caudatum</i>	J. Schröt.		アラゲホコリタケモドキ
<i>Lycoperdon</i>	<i>mammiforme</i>	Pers.		ワタゲホコリタケ
<i>Lycoperdon</i>	<i>nigrescens</i>	Pers.		クロホコリタケ
<i>Lycoperdon</i>	<i>umbrinum</i>	(L.) Pers.		ツブホコリタケ
Lyophyllaceae			シメジ科	
<i>Hypsizygus</i>	<i>marmoreus</i>	(Peck) H.E. Bigelow		ブナシメジ
Marasmiaceae			ホウライタケ科	
<i>Marasmius</i>	<i>aurantioferrugineus</i>	Hongo		カバイロオオホウライタケ
<i>Marasmius</i>	<i>pulcherripes</i>	Peck		ハナオチバタケ
Omphalotaceae			ツキヨタケ科	
<i>Gymnopus</i>	<i>densilamellatus</i>	Antonín, Ryoo & Ka		ミツヒダニオイカレバタケ
Pleurotaceae			ヒラタケ科	
<i>Pleurotus</i>	<i>pulmonarius</i>	(Fr.) Qué.		ウスヒラタケ
Porothelaeaceae			ポロテレウム科	
<i>Megacollybia</i>	<i>clitocyboidea</i>	R.H. Petersen, Takehashi & Nagas.		ヒロヒダタケ
Psathyrellaceae			ナヨタケ科	
<i>Coprinopsis</i>	<i>cineraria</i>	(Har. Takah.) Örstadius & E. Larss.		ハイロイタチタケ
<i>Psathyrella</i>	<i>piluliformis</i>	(Bull.) P.D. Orton		ムササビタケ
<i>Psathyrella</i>	Sp. 1			ナヨタケ属の1種
Squamanitaceae			カブラマツタケ科	
<i>Cystoderma</i>	<i>amianthinum</i>	(Scop.) Fayod		シロカラカサタケ
<i>Cystoderma</i>	<i>japonicum</i>	Thoen & Hongo		オオシワカラカサタケ
Strophariaceae			モエギタケ科	
<i>Hypholoma</i>	<i>fasciculare</i>	(Huds.) P. Kumm.		ニガクリタケ
<i>Pholiota</i>	<i>flammanis</i>	(Batsch) P. Kumm.		ハナガサタケ
<i>Pholiota</i>	<i>spumosa</i>	(Fr.) Singer		キナメツムタケ
<i>Pyrrhulomyces</i>	<i>astragalinus</i>	(Fr.) E.J. Tian & Matheny		アカツムタケ
Tricholomataceae			キシメジ科	
<i>Collybia</i>	<i>alboflavida</i>	(Peck) Kauffman		アシボソザラミノシメジ
<i>Tricholomopsis</i>	<i>decora</i>	(Fr.) Singer		キシマツムドキ
<i>Tricholoma</i>	<i>japonicum</i>	A. Kawam.		シロシメジ
<i>Tricholoma</i>	<i>psammopus</i>	(Kalchbr.) Qué.		カラマツシメジ
<i>Tricholoma</i>	<i>sejunctum</i>	(Sowerby) Qué.		アイシメジ
所属科未確定				
<i>Leucocybe</i>	<i>connata</i>	(Schumach.) Vizzini, P. Alvarado, G. Moreno & Consiglio		オシロイシメジ

担子菌門ハラタケ綱イグチ目 (Basidiomycota Agaricomycetes Boletales)

Boletaceae			イグチ科	
<i>Boletus</i>	<i>pulverulentus</i>	Opat.		イロガワリ
Paxillaceae			ヒダハタケ科	
<i>Paxillus</i>	<i>involutus</i>	(Batsch) Fr.		ヒダハタケ
Suillaceae			ヌメリイグチ科	
<i>Boletinus</i>	<i>cavipes</i>	(Klotzsch) Kalchbr.		アミハナイグチ
<i>Suillus</i>	<i>grevillei</i>	(Klotzsch) Singer		ハナイグチ
<i>Suillus</i>	<i>luteus</i>	(L.) Roussel		ヌメリイグチ
<i>Suillus</i>	<i>viscidus</i>	(L.) Roussel		シロヌメリイグチ

担子菌門ハラタケ綱アンズタケ目 (Basidiomycota Agaricomycetes Cantharellales)

Hydnaceae			カノシタ科	
<i>Craterellus</i>	<i>cornucopioides</i>	(L.) Pers.		クロラッパタケ

担子菌門ハラタケ綱タマチョレイタケ目 (Basidiomycota Agaricomycetes Polyporales)

Fomitopsidaceae			ツガサルノコシカケ科	
<i>Fomitopsis</i>	<i>betulina</i>	(Bull.) B.K. Cui, M.L. Han & Y.C. Dai		カンバタケ
<i>Phaeolus</i>	<i>schweinitzii</i>	(Fr.) Pat.		カイメンタケ
Meruliaceae			シワタケ科	
<i>Climacodon</i>	<i>pulcherrimus</i>	(Berk. & M.A. Curtis) Nikol.		アセハリタケ
Polyporaceae			タマチョレイタケ科	
<i>Neofavolus</i>	<i>suavissimus</i>	(Fr.) J.S. Seelan, Justo & Hibbett		ニオイカワキタケ
<i>Trametes</i>	<i>versicolor</i>	(L.) Lloyd		カワラタケ
<i>Trichaptum</i>	<i>biforme</i>	(Fr.) Ryvarden		ハカワラタケ
<i>Tyromyces</i>	<i>chioneus</i>	(Fr.) P. Karst.		オシロイタケ

担子菌門ハラタケ綱ベニタケ目 (Basidiomycota Agaricomycetes Russulales)

Russulaceae			ベニタケ科	
<i>Lactarius</i>	<i>laeticolor</i>	(S. Imai) Imazeki ex Hongo		アカモミタケ
<i>Lactarius</i>	<i>quietus</i>	(Fr.) Fr.		チョウジチチタケ
<i>Russula</i>	<i>eburneoareolata</i>	Hongo		ツギハギハツ
<i>Russula</i>	<i>delica</i>	Fr.		シロハツ
<i>Russula</i>	<i>laurocerasi</i>	Melzer		クサハツモドキ
<i>Russula</i>	<i>nigricans</i>	Fr.		クロハツ
<i>Russula</i>	<i>senecis</i>	S. Imai		オキナクサハツ

担子菌門ハラタケ綱キクラゲ目 (Basidiomycota Agaricomycetes Auriculariales)

Auriculariaceae			キクラゲ科	
<i>Pseudohydnum</i>	<i>gelatinosum</i>	(Scop.) P. Karst.		ニカワハリタケ

子のう菌門リテイスマ目

Cudoniaceae			ホテイタケ科	
<i>Cudonia</i>	<i>circinans</i>	(Pers.) Fr.		ホテイタケ

子のう菌門チャワンタケ綱チャワンタケ目 (Ascomycota Pezizomycetes Pezizales)

Helvellaceae			ノボリリュウタケ科	
<i>Helvella</i>	<i>macropus</i>	(Pers.) P. Karst.		ナガエノチャワンタケ
Pyrenomataceae			ヒロネマキン科	
<i>Scutellinia</i>	<i>scutellata</i>	(L.) Lambotte		アラゲコベニチャワンタケ

事業報告の附属明細書

特段、記載する事項はありません。